

大阪市交通局の地下鉄事業について

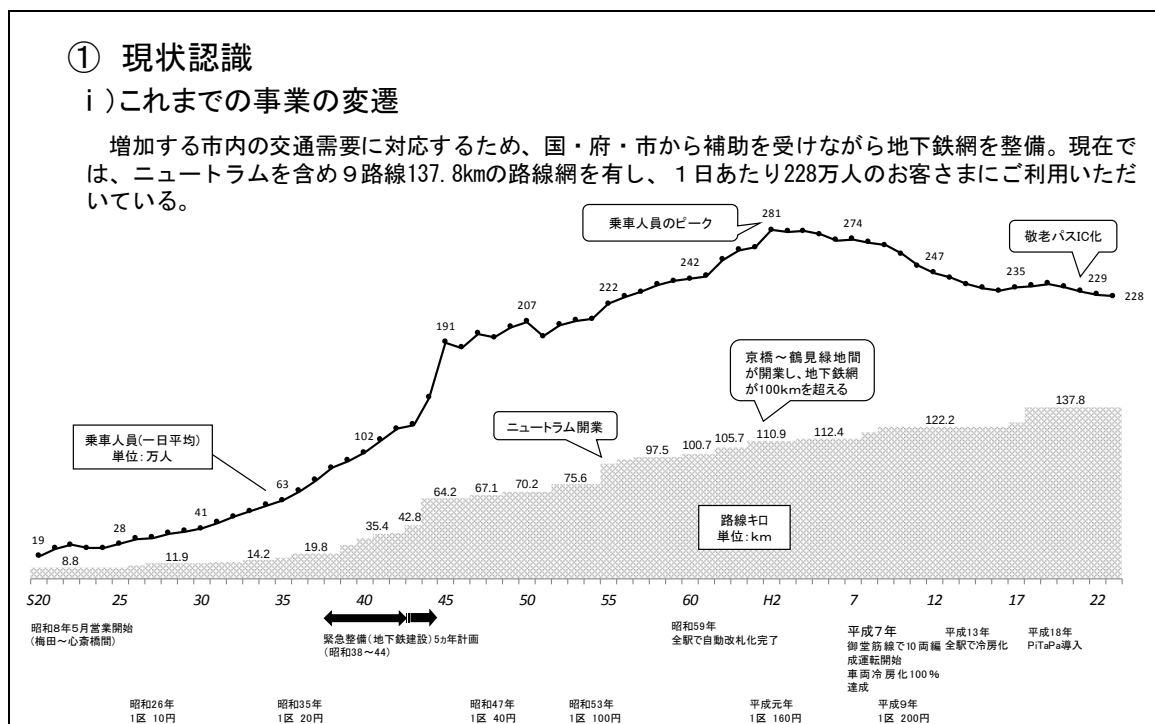
1 地下鉄事業の現状

(1) 事業の変遷等

昭和 8 年 5 月に営業を開始して以来、地下鉄網の整備を進め、現在では、ニュートラムを含め 9 路線 137.8km の路線網を有している。

経営収支については、数度にわたる経営改善計画の実施により経営改善を行い、H22 年度には累積欠損金を解消している。一方で乗車人員については減少を続けており、ピーク時 H2 年度では 281 万人であったのに対して、平成 23 年度決算では 228 万人となっており、約 19%減少している。

i) これまでの事業の変遷

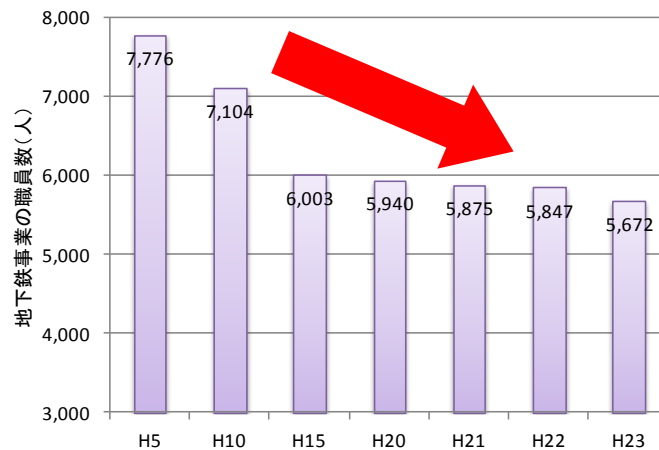


出典：地下鉄事業民営化基本プラン（案）平成 25 年 5 月より抜粋

図 1-1 これまでの事業の変遷

ii) これまでの収支の変遷

地下鉄事業の収支については、新線建設等による減価償却費や支払い利息といった資本費負担が重く赤字が続いていたが、数度に渡る経営改善計画の実施により、職員数を削減するとともに、高金利の企業債を繰上償還することなどにより収支は改善し、平成 22 年度には累積欠損金を解消した。



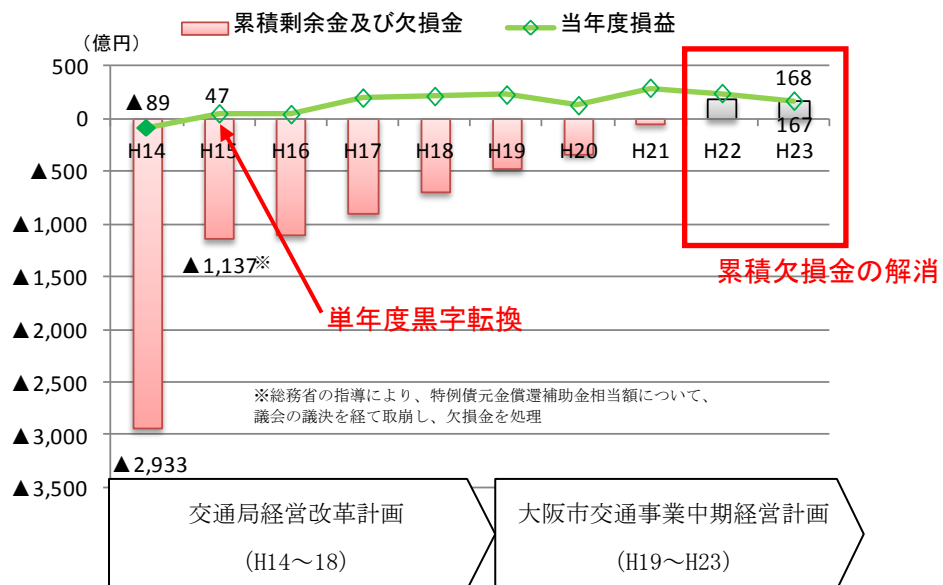
【経営計画】

平成 7～11 年度 地下鉄事業経営健全化計画 平成 14～18 年度 交通局経営改革計画

平成 10～13 年度 地下鉄事業新規効率化計画、コスト削減計画 平成 19～23 年度 大阪市交通事業中期経営計画

出典：地下鉄事業民営化基本プラン（案）平成 25 年 5 月より抜粋

図 1-2 地下鉄事業の職員数の推移



出典：地下鉄事業民営化基本プラン（案）平成 25 年 5 月より抜粋

図 1-3 地下鉄事業の経営成績の推移

iii) 乗車人員の推移

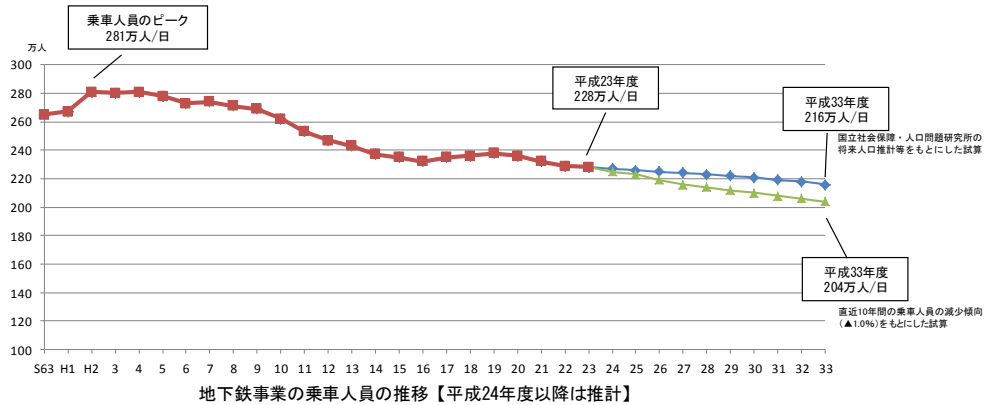
① 現状認識

iii) 乗車人員の推移

地下鉄事業の乗車人員は、従業者人口の減少や少子化に伴う通学者の減少など、社会経済情勢の影響により大幅に減少しており、ピーク時の平成2年度では、1日あたり281万人であったが、平成23年度決算においては228万人と約19%減少している。

今後、少子高齢化が進むことによって、乗車人員の減少が続くと見込まれ、経営環境は厳しさが増すものと想定される。

※ 乗車人員が1日あたり1万人減少した場合、年間約6億円の減収となる。



出典：地下鉄事業民営化基本プラン（案）平成25年5月より抜粋

図 1-4 乗車人員の推移

iv) 一般会計の財政負担

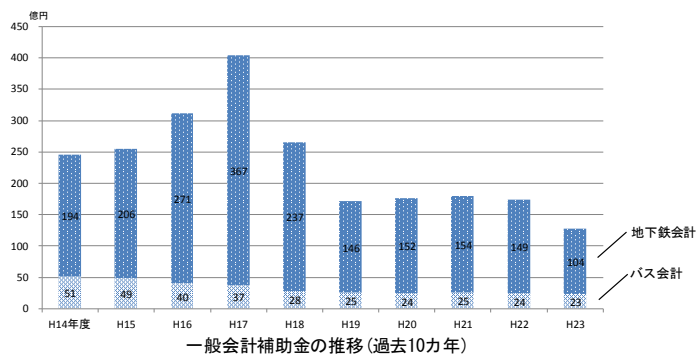
① 現状認識

iv) 一般会計の財政負担

地下鉄事業の平成23年度決算は167億円の黒字となっている。平成23年度には、繰り入れられるべき補助金の減額を行うなど、一般会計等の貢献として50億円の繰入金の減額を実施したものの、一般会計から104億円の補助金・出資金を繰り入れている。

過去10カ年では、累計1,980億円、年平均約200億円繰り入れている。

一般会計の扶助費、公債費の負担増加により市財政の硬直化が進むなか、現行スキームは維持できないおそれがある。



出典：地下鉄事業民営化基本プラン（案）平成25年5月より抜粋

図 1-5 一般会計の財政負担

(2) 大阪市一般会計の収入・支出と市税の伸びの推移

- ・最も基本的な収入である市税は、ピークである平成 8 年度と比べると、1,557 億円の減収となるなど、依然として低い水準になっている。
- ・支出について、義務的経費が全体の約 6 割を占めており、自由に使えるお金が少ない財政状況である。
- ・市税収入が低水準で推移するなか、人件費や投資的経費の抑制を図っているものの市税収入がピークであった平成 8 年度決算と比較すると、扶助費や公債費は 2 倍を超えるなど義務的経費が高い伸びを示している。

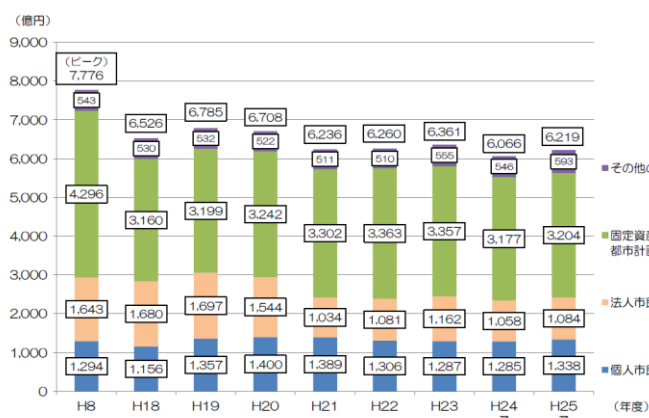


図 1-6 市税収入の推移

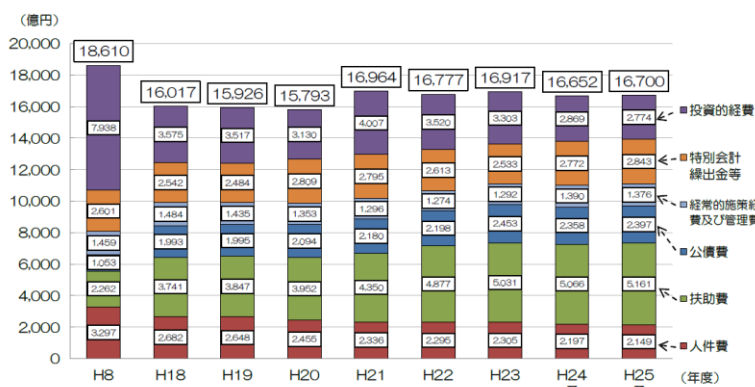
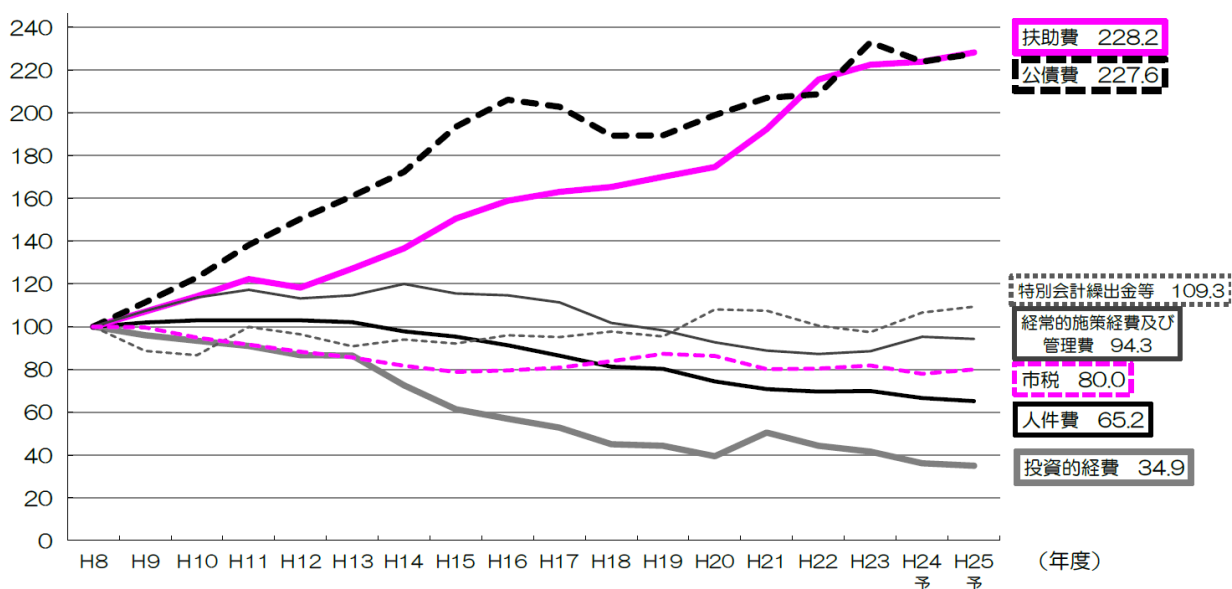


図 1-7 支出の推移



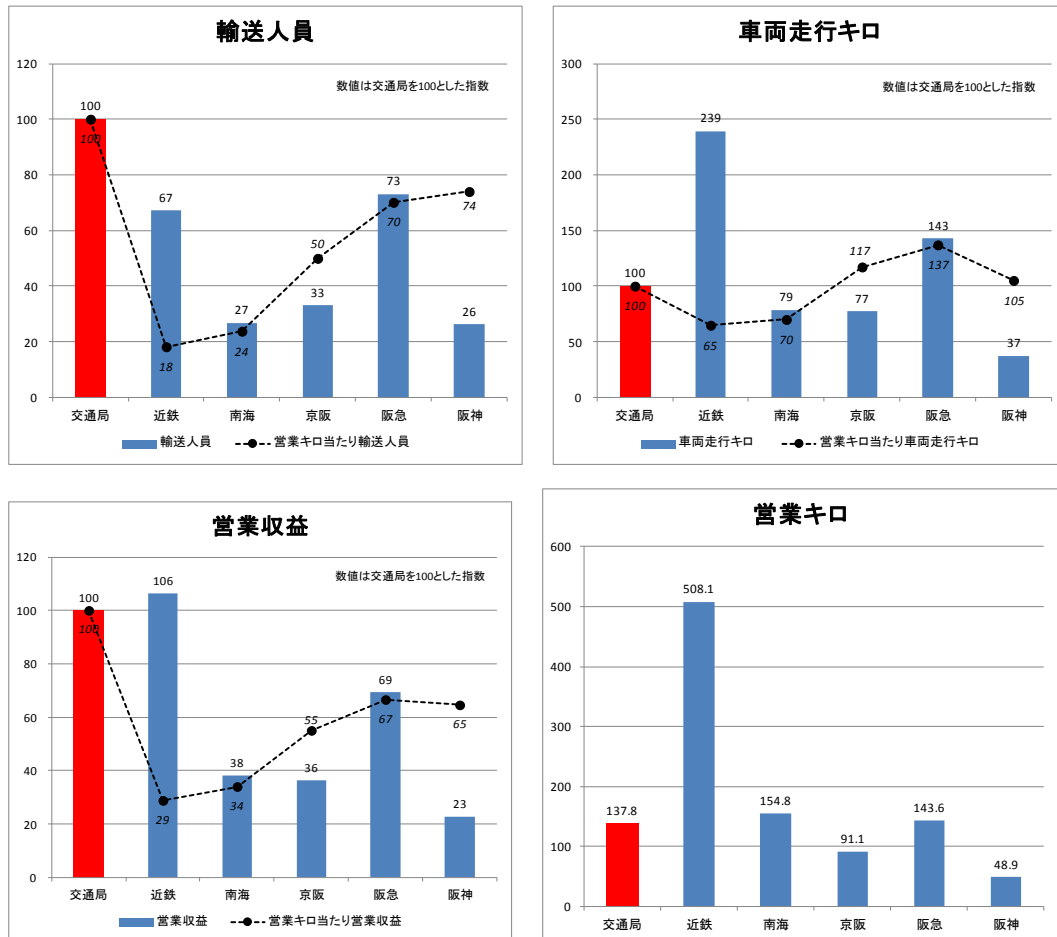
※公債費は平成 23 年度決算での互助会給付金事業返納金の公債償還基金への積立、平成 16 年度・17 年度決算での互助組合返還金の公債償還基金への積立及び特定資金公共投資事業債 (N T T - B) の繰上償還を除く。

※平成 8 年度決算を 100 とした場合
出典：財政のあらまし

図 1-8 性質別歳出と市税の伸び率の推移 (一般会計)

（３）他事業者との比較

大阪市交通局と京阪神圏の民鉄各社を比較すると、営業キロや車両走行キロは近鉄を除く大手私鉄と同規模であり、輸送人員や営業収益では、高い水準を示し、大手私鉄と類する規模の鉄道事業を有している。



出典：大阪市交通局 平成 24 年度決算値
民鉄 5 社 「大手民鉄の素顔」

図 1-9 大阪市交通局と他事業者との比較

(4) 路線別経常収支・輸送状況

H14 年度収支差し引きでは、黒字となっているのは 1 号線のみであるが、経営改善を進めた結果、H24 年には全般的に収支が改善しており、2 号線、4 号線、6 号線も黒字に転換している。

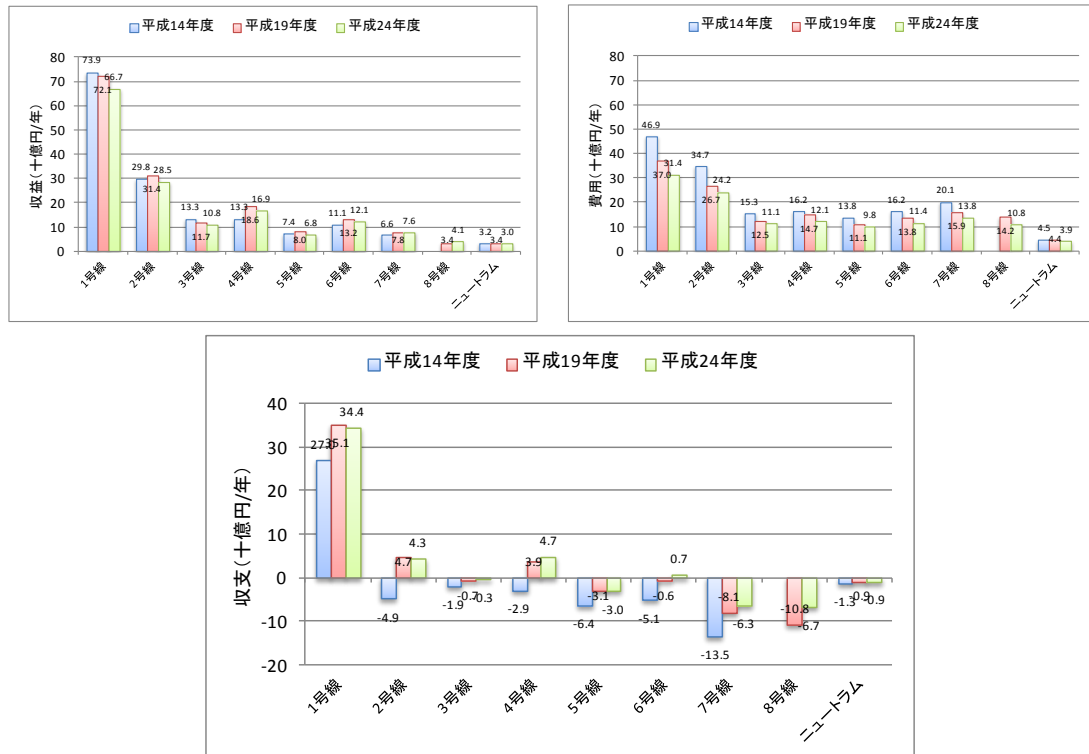
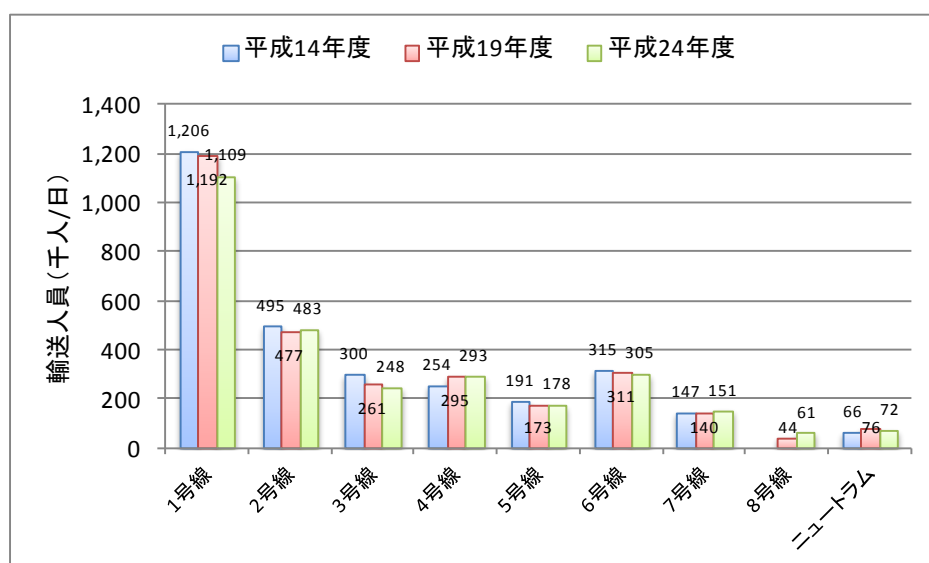


図 1-10 号線別収支の変化(平成 14・19・24 年度の比較)



出典：大阪市交通局資料

図 1-11 号線別輸送人員の変化(1 日平均、平成 14・19・24 年度の比較)